超短期日本語・日本文化プログラムにおける eポートフォリオの活用 -教育モデルの構築に向けて-

東京外国語大学留学生日本語教育センター
宮城徹
tom@tufs.ac.jp
東京学芸大学大学院修士課程
島崎俊介
m123307n@st.u-gakugei.ac.jp

2013/03/08　熊本大学eポートフォリオ国際セミナー

プログラムの概要

- AUS，NZの大学生24名に対する4週間集中日本語・日本文化学習プログラム
- 2013年1月～2月の4週間
  - 午前：3レベル別日本語授業
    担当：日本語教員
  - 午後：フィールドワーク（近隣探索、防災館訪問等）
    担当：宮城
  - 火曜午後：eP作成授業
    担当：宮城・島崎
  - 週末：オプショナル活動（鎌倉、TDLなど）

※本発表におけるeポートフォリオ：Maharaのページを指す

ePに期待されたこと

①教室外（異文化交流）活動と授業活動の連携

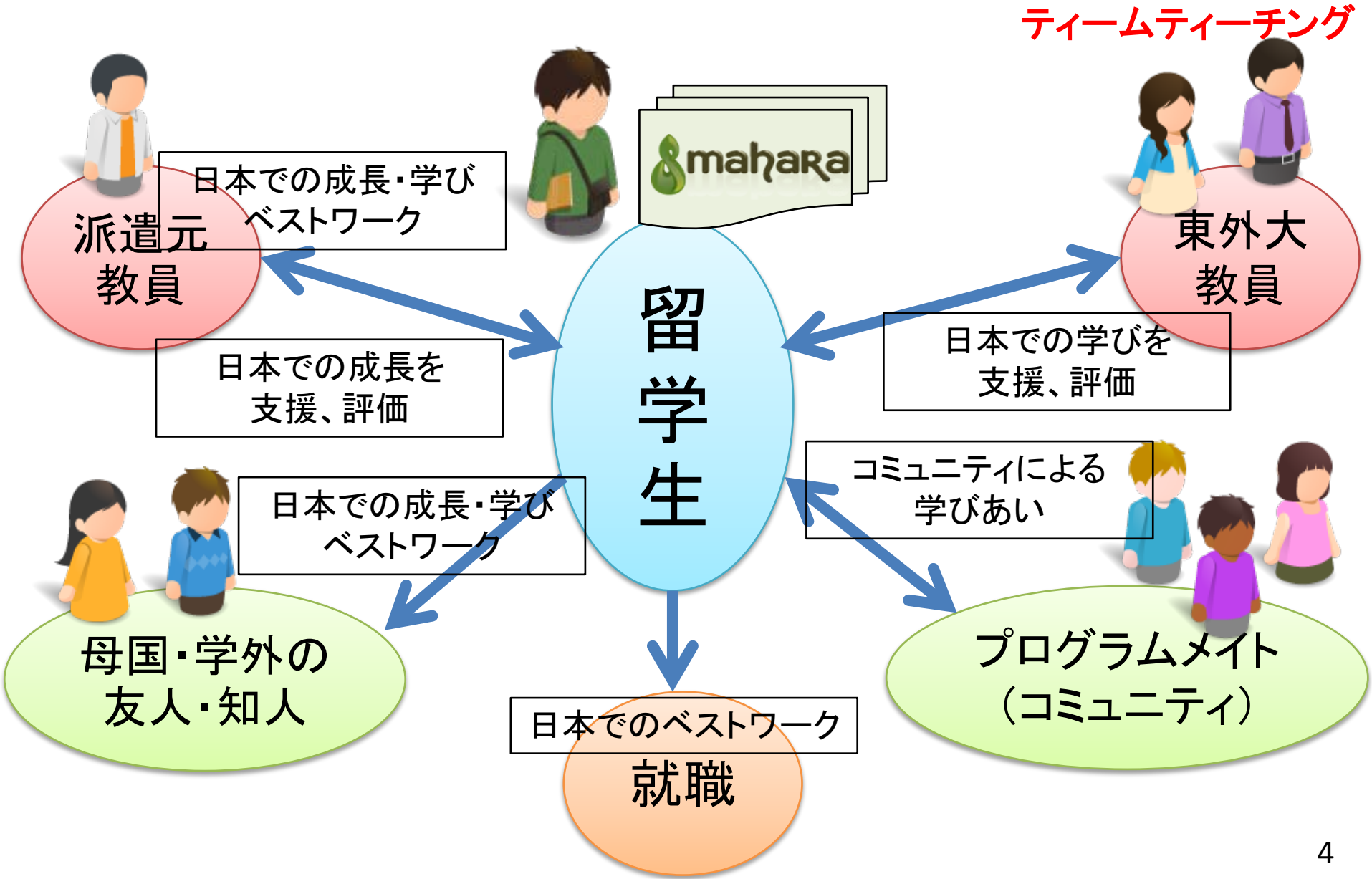
②継続的学習の方法、習慣づけ、動機づけ

③日本語レベルに限られない学習コミュニティの創出

④派遣元（海外）大学（教員）との連携

⑤国境を超える“Language Passport” 機能

超短期交換留学生によるePの利用概念図



12年度の課題と13年度の対応策（1/4)

課題1：午前の授業担当者と，午後の授業担当者との連携が不十分

対応策1：

- Mahara上に，「SSW2013ALL」という全体向けのグループと「SSW2013教員ALL」という教員用のグループを作成.
- グループ内のフォーラムを用いることで，関係者で書き込み・情報を共有できる連絡網的な役割を設けた

12年度の課題と13年度の対応策（2/4)

課題２：海外の大学生・教員だからと言って、必ずしもポートフォリオに習熟しているわけではない。

対応策２：

- 担当教員および留学生向けのマニュアル（日本語・英語）を作成し，プログラムが始まる前にMahara上で配布を行った。
- eP授業の最初に作成の意義を説明し、簡単な作業から順に実施した。

12年度の課題と13年度の対応策（3/4)

課題３：授業外での積極的、自発的利用を促すことの難しさ

対応策３）：ePの授業で，ePの良さ・使うメリットとして以下の３点を強調。

- 自分が学んできたことを記録に残すことができる
- 後で，学んだことを振り返ることができる
- 他人に，自分の勉強してきたことを公開できる

12年度の課題と13年度の対応策（4/4)

課題4：ePにみられる学習の結果を評価に反映できなかった。

対応策4:

- 今回は評価の対象外に

※ePの成果物の評価＝学生の評価ではないため，

１３年度の成果（1/2）

- 1回目の授業で、Mahara利用の意義と使い方の基礎をわかりやすく説明できた。そのために、その後の混乱が起きにくかった。
- 昨年より，多くの教員（派遣元の教員含む）が、積極的にMaharaを活用していた。このことが，学生の動機づけへつながったと考えられる
- 全員がPCを持参し、寮からも書き込みが可能になったため利用頻度が大幅に増加し、使用が習慣化した。
- 使用の増加に伴い、eポートフォリオ作成の意義が徐々に浸透した。

１３年度の成果（2/2）

- ガイダンスでeポートフォリオの良さを伝えたことで，学生たちは授業外でもMaharaを使ったページを活用した（最初の週は，24名で100ページ以上の更新が見られた）.

- 各人がMaharaを積極的に活用する「**コミュニティ**」を形成することが大事であることがわかり，今回はコミュニティの形成が自然にうまくいったと考えられる.

学生が作成したページの例①（吉祥寺オリエンテーリング）

吉祥寺オリエンテーリング

マイベスト5のお店と感想

感想

なぜ吉祥寺は東京に一番住みたい街のいい評判があるのか昨日やっと分かった。種類がいっぱいあって、手頃な値段、おしゃれな感じがする、緑がある、新旧一体、便利、感じの良い雰囲気。

先ず、自分はラーメン食べないだけど、駅の周りだけも数々有名なラーメン屋がある。ラーメンに限らず、他の食べ物もたくさんのチョイスがある。和食や洋食や伝統なお菓子屋さんや隠れて、おしゃれなカフェなどもいっぱいあるから吉祥寺に住むなら飯は絶対問題がない。吉祥寺の街はとても特別なポイントは新旧一体、現代な建物と伝統なお店混ざってるが全然不調和な感じがしない。逆にすごくおしゃれな感じを出してる。東京の他の区と比べたらとても新鮮な感じがする。吉祥寺は表面からあまり特別ではないだけど、そこの街歩いて本当に吉祥寺が好きになれる。

吉祥寺の店で売ってる物も何回も意外にやすかった。なんかいいサプライーズだった！でもそれで何にも買いたくなちゃう、ちょっと危なかった(笑)お店はほとんど一人でも全然入れるの感じがする。もちろん友達と恋人とも入れるけど、吉祥寺の店は入りやすいので一人にしたい時この辺来るのはオススメです。お店に入らなくても街だけでいい雰囲気があるので外でぶらぶらでもオススメです。

最後の理由は、吉祥寺は都市だけどそんなに都市な感じはしない。吉祥寺駅のすぐ近くはとてもキレイな公園がある。うちら行った時はもう暗くなったがみんなは「きれいだなーー！！」ってすごく感動した！ロマンチックな感じがするからもしデートが行きたいの人達がいるならそちもオススメです！ただし残念のポイントは、去年まで公園のすぐ近くがあった焼き鳥屋さんの「いせや」はもなくなった。先生から他のビルにも一つの店舗あるが、雰囲気はもう違ってるので本当に残念でした。そこは大好きだった、まだ行きたかったの焼き鳥屋でした。今度他の焼き鳥屋を試します！

結論:私も吉祥寺に住みたくなった！！→名前もすごくいい、吉祥ってやっぱりいい感じをするだね(笑)

おしゃれなミソ店舗

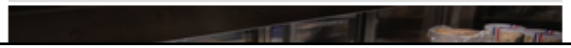
花見せんべい

マイ5位

花見せんべいは名前の通り 煎餅を売っているのお店。実はこの店で何にも買ってなかったので本当に味はどうか分からない。それでも、煎餅が買いたいのみんなにこの店をオススメしたいです！

なぜなら、店長のおじいさんはとてもとても優しくて親切である。最後うちら店を出る前みんな全員におせんべいをサービスしてくれました！(売ってるの煎餅食べなかったが、サービスくれたのは凄く美味しかった！)お店に入った瞬間はおせんべいの匂いはすごくよかったである。55年間やっているので店内にも伝統な日本の感じがする。もしみんなこの店行ったら是非店にある物を注意してください！

カフェタナカテイ



マイ4位

美味しかった！！！！！！Maple Houseのシュークリム本当に美味しかった！私甘いもの凄く好きので甘いものにこだわりがある、シュークリムの中身だけ美味しいじゃだめ、外も重要である。ここのシュークリムは両方もよく作った！

ここは二種類しかないが、これだけでも十分だと思う。二つの種類はオリジナルと季節の味の抹茶である。いいお菓子屋さんは色んな種類はいらないと思う、出したのデサートは本当に美味しいなら味の種類は少なくてもお客さんは絶対またもどると思う。ごちそうさまでした！

Maple Houseのシュークリム

マイ3位

Billboardは他の紹介と違ってる、食の店じゃなくて文具店である。だけど、文具店と言ってもほとんどうってるのはカード。ここで色々

学生が作成したページの例②（鎌倉散策）

鎌倉

An Image

先週の日曜日、私たち留学生と日本学生三人一緒に鎌倉に行った。あの日の朝電車に乗り遅れたから、ちょっと遅く約定の場所に到達した。でも、鎌倉までの電車に間に合うに乗った。大体一時間をかかった。私たちは横須賀線をとって鎌倉に至った。鎌倉から、電車にとって長谷に著いた。それで、歩いて最初の目的地長谷観音寺に著いた。長谷観音寺はとてもきれいな場所だ。お寺の入り口の近くに中の園林がある、その中でいろいろな花がいる。それで、階段を上って、主な桜観音堂がある。長谷観音は日本三大観音と聞きた。この観音はすごく大きくて綺麗だと思う。そして、観音堂の外は展望台から見れば、海を見ることができる。天気も良かったし、海と空の色は平和的な感じが作られた。電車で、海を見えなかったから、少し残念でも、この景色を見たら、満足感が生み出た。

その後、鎌倉大仏に見ていった。鎌倉大仏はとても有名的なスポットだと思う。なぜなら、行った前はこの名前聞きたことがある。大仏の中でも入って、よく大仏の構造が分かったと思う。大仏の参観が終わったら、蕎麦屋で昼ごはんを食べた。今の季節は冬だけど、一番好きな冷たいそばが食べた。肉がなかったけど、とてもおいしかった。昼ごはんの後は、みんな一緒に歩いて鶴岡八幡宮にいった。鎌倉から鶴岡八幡宮まではちょっと遠いけど、途中で色々な店があるから、あまり疲れた感じがなかった。私が食べ物に大きい興味があって、色々な食べ物を食べたいから、栗トラ焼きや蒲蒲飴や紫からいも食べてみた。すごく面白い、おいしいかった。いちご飴と焼き鳥肌が食べてみたかったけど、時間がなかったら、食べなかった。

鎌倉大仏

An Image

鶴岡八幡宮

学生が作成したページの例③（日本でのベストワーク）

日本でのベストワーク

自分の旅

私にとって、今回の留学は人生初めての一人での旅でした。経済的に、また計画も全部自分で準備をし、一人で飛行機に乗って知らない場所に来たのです。大学生でとっくに寮などに住んで自立している人はたくさんいると思うのですが、私は家から通っているの、大学生になっても高校時代のときと生活はほとんど変わりません。ですから今回東京に来て初めて自分で生活を送らなければならなかったのです。食事はほとんど寮が出してくれているので、食べ物のことはあまり気にしなくてもよかったのですが、生活費、洗濯物など初めて自分で完全に責任を持たないといけなかったので、これは私にとって大事な経験だったと思います。人生のハードルを一つ越えることができたような気がします。自分に自分で生きていけることを証明できたと思います。

一人の生活

新しい友達

留学のプログラムを通して新しい友達がどんどん！

外大の日本人大学生、そして同じプログラムの留学生など、たくさんの人と会いました。

この様に毎日仲間と日本語で話せたのは初めてでしたので、楽しかったですし、勉強にもなりました。またいつか戻って来て、みなに会いたいです！

東京タワー

東京の周りの観光

東京には来たことがなかったので、今回東京の有名な場所をいっぱい見ることができて本当に良かったと思っています。東京はやっぱり日本の首都なので、行くべき場所だと思います。日本にとって重要な場所、東京タワーや国会議事堂、靖国神社そして日光、色々なところへ行くことが出来ました。今度日本のニュースを見ているときに各場所の画像が映ったら私は「そこに行っ事がある」といえるのがうれしいです。

行った場所：

観光地：皇居、靖国神社、上野公園、国会議事堂、東京タワー、浅草、お台場、スカイツリー、日光

その他：渋谷、新宿、吉祥寺、下北沢、池袋、恵比須など

皆で写真を！

日本で勉強したこと

日本には何度も来たことがあるのですが、いつもは家族と、家族を会いに来ていたので日本での生活の経験はあ全くなかったと思います。今回は初めて、日本に「住んで」、日本の学生として色々経験できたと思います。前から一度でもいいから日本へ留学したかったので、今回の経験でその夢が叶いました。

１か月という期間はとても長く聞こえたのですが、あっという間に過ぎてしまいました。もともとは半年、一年などの長い留学をするのが不安で、この短期プログラムに申し込んだのです。だが、このプログラムのおかげで長い期間に留学をすることに対しての不安感がなくなったので、いつかもっと長い留学プログラムを通してと戻ってきたいです。

この１ケ月を振り返ると

この一か月の短期プロフラムはあっという間に過ぎてしまいました。楽しいことや悲しいことでいっぱいの一か月でした。宿題が難しく、夜遅くまで起きていたこと、大雪の中でブルブル振るれていたことなど成長しなければ追い越せないハードルがいっぱいありました。また、新しい出会い、新しい場所、新しい経験の楽しいこともいっぱいありました。楽しいことも大変だったこともすべて勉強になり、私の人生の大事な経験の１つとなりました。

今回の短期プログラムでサポートしてくださった東京外大の先生方、ANUの先生方そして家族にいつまでも感謝の気持ちでいっぱいです。

短い間でしたが、お世話になりました。本当にありがとうございました。☆～

残された課題（1/4）

- eP授業の最後に，「日本でのベストワーク」を作成させたが，アセスメントは行わなかった

理由：

（ページの熱心な作成＝優秀ということにはならない）

↓

学生のページを評価するための評価基準（ルーブリック）を教員間で議論しながら作成する必要が感じられた。

残された課題（2/4）

■　授業担当者と教室外担当者との連携は教員専用グループの作成・マニュアルの提供だけでは不十分

↓

教員間のオリエンテーションを通して，Maharaを活用することで学生の学習を促進させることができるか？

残された課題（3/4）

- Mahara上で，作成したページを発表させる機会を設けられなかった（ページ作成に時間がとられた）

↓

eP作成の時間を設けるのではなく，各活動・授業にePを用いる時間を埋め込みたい

残された課題（4/4）

- 参加留学生に渡日前に使い方などを連絡したが、事前に記入を行った者は少なかった。（昨年の方が多かった。）
- 参加教員に事前に使い方などを連絡したが、事前の関心は薄かった。プログラム後半になって、問い合わせをしてくる教員もいた。
- 自律的、自主的学習を身につけさせるためには、導入においては，半ば強制的に作成させざるをえないのか？
- プログラム後の継続利用について、関心を持つ学生がいたが、積極的に活用されている形跡はない。

超短期プログラムでのeP活用モデル

Maharaを使って
日本語・日本文化について
のページ作成
作成したページを用いて
グループディスカッション

午前・午後の活動を
関連した内容にする

プログラム修了

- ベストワークの作成
- 振り返り
- 新たなゴール設定
- ルーブリックによる
  アセスメント

午前中：
授業中にePの作成
（eP活動を埋め込む）

午後，週末：
プログラム活動

mahara

ePの時間（週１）
eP作成・ディスカッション

渡航前

- アカウントの配布
- マニュアルの配布
- プロファイルの作成
- ePの意味づけ説明
- ゴール設定
- コミュニティの構築

※チューターの配置
・Mahara操作の質問
・日本語のチェック

教員の
横断的
な支援

今後の予定

- 作成したモデルを基に，14年度の実践を行う
- 授業の枠を超えた，教員間の連携によるMaharaの活用方法およびオリエンテーション方法の検討
- 学生のページ（eポートフォリオ）をアセスメントするためのルーブリック作成

参考文献

[1]Maharaユーザコミュニティ Fレックス

http://eport.f-leccs.jp/view/view.php?id=1849

[2]宮崎誠，“Mahara および Sakai OSP の効果的な活用”法政大学情報メディアセンターカンファレンス

[3]宮城徹，“超短期留学生受け入れ日本語・日本文化プログラムでのMahara 利用の試み”MOF2012

[4]石井容子，熊野七絵 “国際交流基金レポート 13 自律学習支援とポートフォリオ評価”日本語学2010 12 vol.29-15

ご清聴ありがとうございました